

令和 8 年 4 月 14 日
交通政策局港湾整備課

両津港周辺の路上駐車対策（当面の対応）について

新潟県では、佐渡の玄関口である両津港周辺で問題となっている路上駐車について、県、市、警察署、民間事業者等の関係者で構成する「両津港周辺課題協議会」において、その対策に向けて協議を重ねてきました。

この度、別紙のとおり、当面の具体的な対応策が協議会で承認されましたので、お知らせします。

今後も、世界遺産登録に相応しい整然とした佐渡の玄関口の構築と両津港ターミナル周辺のさらなる利便性の向上に向けて、関係機関と連携して取組を進めてまいります。

記

1 主な取組（コンセプト）

- ・ 渋滞している一般降車専用ロータリーを改良し、本来の降車機能を発揮させ渋滞を解消することで、路上駐車を削減
- ・ 市の要請に対処するため、おもいやり駐車場を増設（現状 2 台 ⇒ 5 台）
- ・ 一般ドライバーと路線・観光バスやタクシーなどの事業者ドライバーのエリアを分離することで安全性を確保

2 工事期間

令和 8 年度後半～令和 9 年度を予定

3 その他

工事の際には、利用者及び周辺環境への影響に十分配慮して進めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

本件についてのお問い合わせ先
交通政策局港湾整備課 櫻木、小海
（直通）025-280-5867（内線）3302

1.5車線に拡幅することで、降車のために複数の車が同時に停車しても滞留・渋滞しないようになり、利便性が向上

おもいやりと商品搬入用の駐車エリアを分けることで、錯綜による危険性を回避

鉄蓋を避けて駐車枠を配置

商品搬入用駐車場の台数は維持

おもいやり駐車場を増設(2台⇒5台)し、利便性が向上

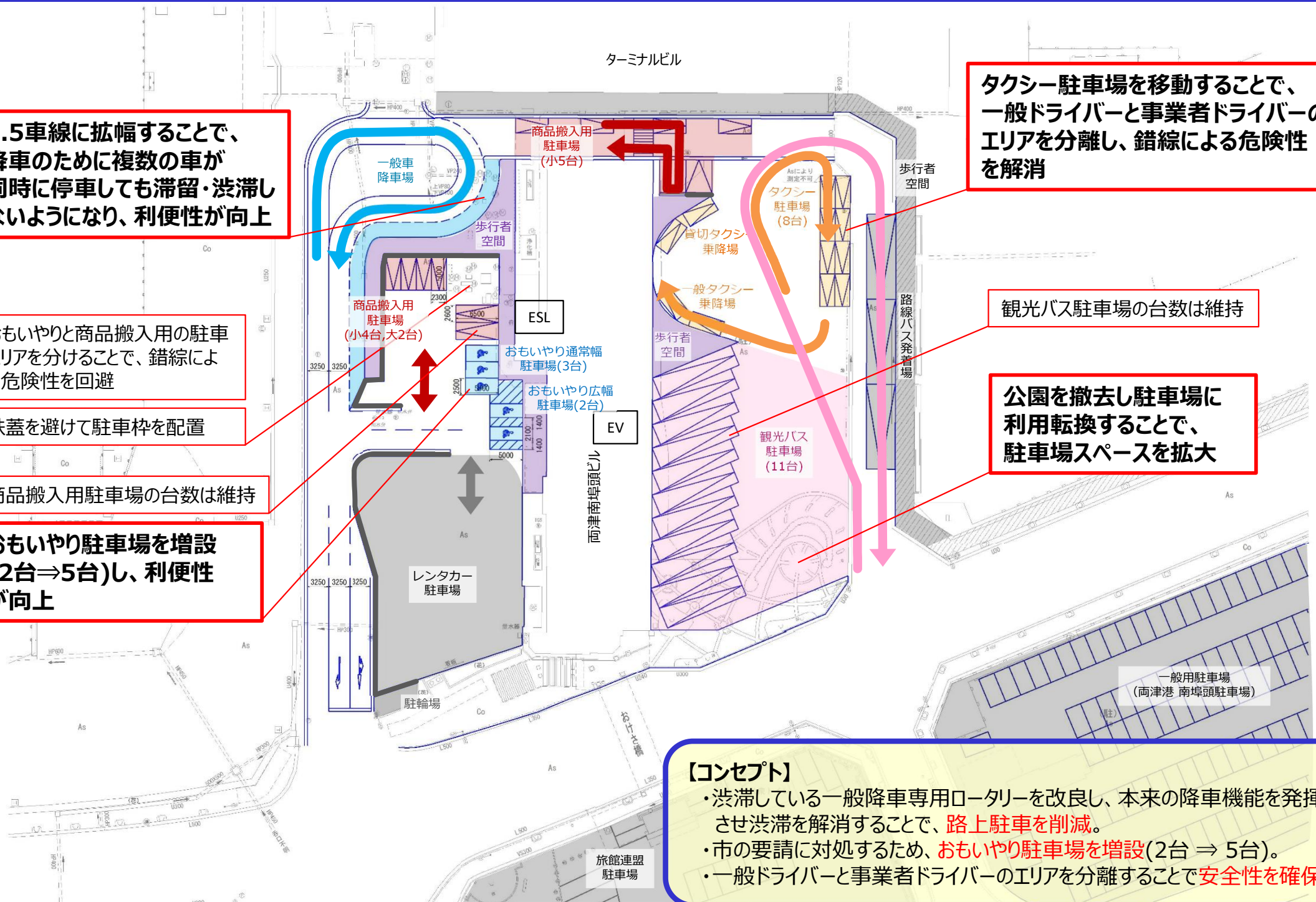
タクシー駐車を移動することで、一般ドライバーと事業者ドライバーのエリアを分離し、錯綜による危険性を解消

観光バス駐車場の台数は維持

公園を撤去し駐車場に利用転換することで、駐車場スペースを拡大

【コンセプト】

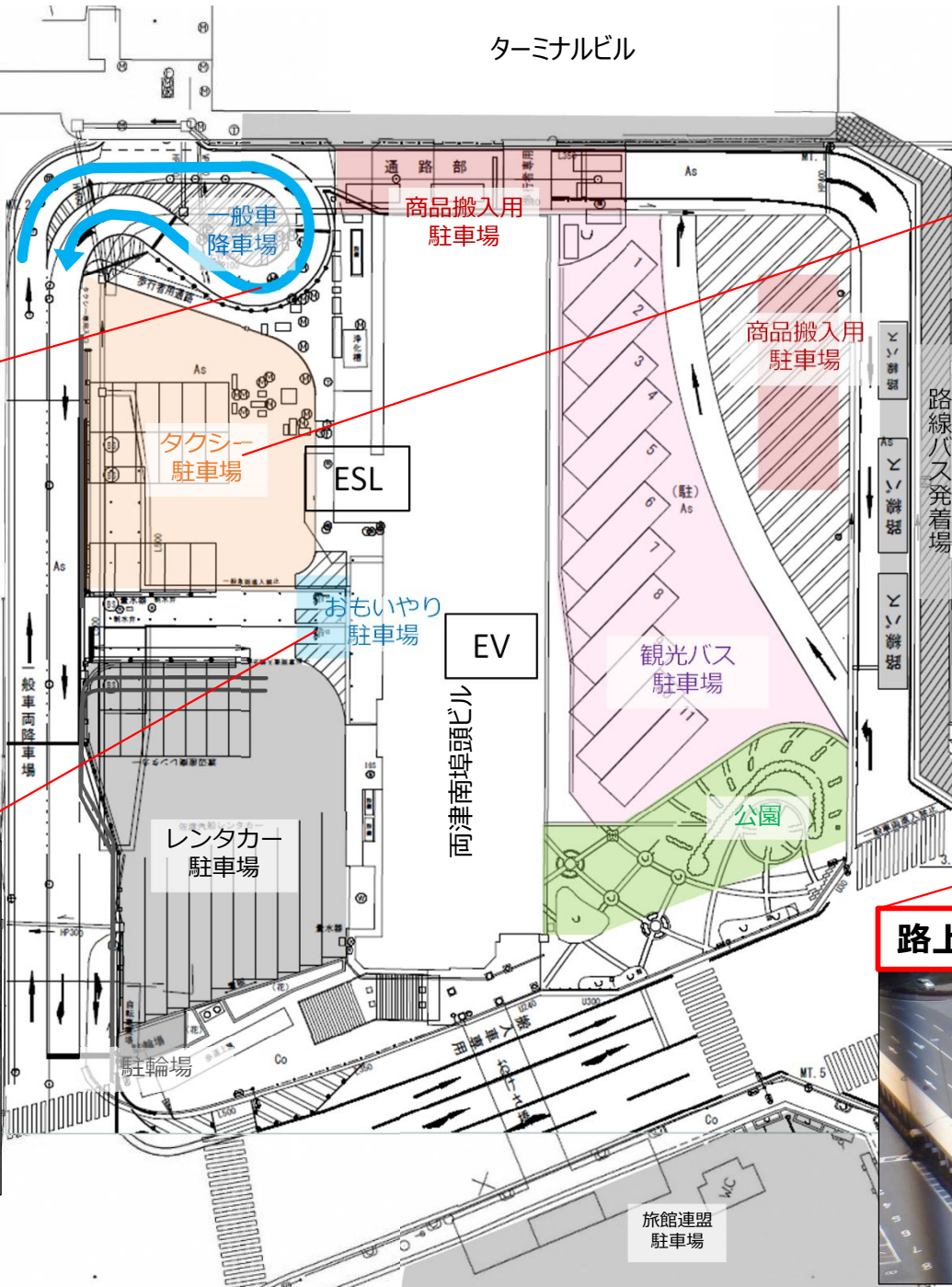
- ・渋滞している一般降車専用ロータリーを改良し、本来の降車機能を発揮させ渋滞を解消することで、路上駐車を削減。
- ・市の要請に対処するため、おもいやり駐車場を増設(2台 ⇒ 5台)。
- ・一般ドライバーと事業者ドライバーのエリアを分離することで安全性を確保。



降車のために車が停車すると
追い越しスペースが無い
ため、**滞留・渋滞が発生している**
降車場機能が十分に発揮でき
ていないため**利便性が低い**



おもいやり駐車場が不足
しており**利便性が低い**



一般ドライバーと事業者ドライバー
のエリアが混在しており、**錯綜により
危険な状態**



路上駐車により、交通・景観を阻害している



一般用駐車場
(両津港 南埠頭駐車場)